

主な事業の概要

本市の総合計画のめざすべき都市像「豊かな自然と歴史に恵まれたにぎわいとやすらぎのあるまち～みんなが住みたい、住み続けたいと実感できるまちづくり～」の実現のために、6つの「まちづくりの基本目標」のもと、各種の施策を展開する中で、平成26年度については、市民が安心して安全に暮らせるまちづくりの実現に向けて、本市が直面する様々な行政課題に迅速かつ的確に対応できる予算とすることを基本としています。その重点事業の主なものとしては、次のとおりです。

- ・ 市立病院整備関連事業
- ・ 交通安全施設整備事業
- ・ 新クリーンセンター施設整備事業
- ・ 特別支援教育加配指導員配置事業
- ・ 幼保一元化関連事業
- ・ 生活困窮者支援事業
- ・ 野洲駅及び篠原駅周辺都市基盤整備事業
- ・ 総合行政システム再構築事業
- ・ 野洲・ものづくりインストラクター養成事業
- ・ 雨水幹線事業
- ・ 消防団機能強化事業

※ 財源内訳の（ ）は、以下のことを表しています。

（使）：使用料、（国）：国庫支出金、（県）：県支出金、（債）：地方債

（諸）：諸収入、（繰）：繰入金、（一）：一般財源

『豊かな人間性をはぐくむまち』

○継続【重点事業】 公立こども園施設整備： 9,756万5千円

（前年度：6億7,151万8千円）

（仮称）野洲第1こども園の開園に向けて、用地の造成及び園舎の設計等に取り組みます。

園舎建築実施設計 2,250万円

造成等工事 7,506万5千円

財源内訳：

（債） 8,820万円

（一） 936万5千円

○継続 子ども・子育て支援事業計画： 319万5千円(前年度:345万6千円)

すべての子どもの良質な成育環境を保障し、子ども・子育て家庭を社会全体で支援することを目的として、昨年度実施した子ども・子育て支援施策の把握や評価、ニーズ調査の結果を反映した子ども・子育て支援事業計画を策定します。

財源内訳：

(一) 319万5千円

○継続 児童手当： 9億7,225万5千円(前年度:9億6,850万5千円)

《支給額》

3歳未満	：	一律 15,000円
3歳以上小学校修了前	：	第1、2子 10,000円、第3子以降 15,000円
中学生	：	一律 10,000円
所得制限世帯	：	一律 5,000円 (所得や扶養親族の人数によって異なります。)

《費用負担》

国と地方(県、市町村)は、2対1の負担割合で負担

財源内訳：

(国) 6億8,111万4千円

(県) 1億4,557万円

(一) 1億4,557万1千円

○継続 学童保育所運営費： 3億626万円(前年度:3億2,803万円)

野洲市社会福祉協議会へこどもの家の運営を指定管理委託し、安心・安全なこどもの居場所づくりを行います。

財源内訳：

(使) 6,406万7千円

(県) 5,931万4千円

(諸) 790万9千円

(一) 1億7,497万円

○継続 子育て短期入所生活援助（ショートステイ）事業： 10万5千円
（前年度：10万4千円）

子育て夜間養護等（トワイライトステイ）事業： 4万2千円
（前年度：4万2千円）

保護者の疾病や育児疲れ、育児不安等（ショートステイ対象）、保護者の仕事等（トワイライトステイ対象）の理由により家庭において児童を養育することが一時的に困難となった場合に、市と契約を結んだ児童養護施設等において養育を行います。

財源内訳：

（国）	4万5千円
（県）	4万5千円
（一）	5万7千円

●拡充 学校応援団事業： 185万円（前年度：145万円）

地域住民の協力のもと、ボランティアによる様々な学校支援活動を通して学校を応援していただく応援団組織に補助金を交付し、子どもたちの健やかな成長を促進するとともに、家庭や地域の教育力の向上を図ります。平成26年度は全中学校に拡大を行います。

財源内訳：

（一）	185万円
-----	-------

○継続【重点事業】 特別支援教育の充実、不登校対策： 4,895万4千円
（前年度：3,141万1千円）

《特別支援教育の充実》

障がいのある児童及び生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じた教育支援を行うため、コーディネーター加配や支援員の配置、巡回相談員の派遣等を行います。

《不登校児童及び生徒への支援》

不登校児童及び生徒への支援を図るため、心のオアシス相談員やスクーリング・ケアサポーターを学校に派遣して、不登校の未然防止や支援の充実を図ります。

また、不登校児童及び生徒の学校復帰を目指して、ふれあい教育相談センターにおいて適応指導教室、こころの教育相談を実施します。

財源内訳：

（県）	15万2千円
（諸）	1万2千円
（一）	4,879万円

『人とひとが支え合う安心なまち』

○継続 扶助費

障がい者自立支援費

7億4,817万4千円
(前年度：7億247万1千円)

財源内訳：

(国) 3億7,408万7千円
(県) 1億8,704万3千円
(一) 1億8,704万4千円

福祉医療助成費

3億5,331万6千円
(前年度：3億3,372万5千円)

財源内訳：

(県) 1億424万2千円
(諸) 4,334万1千円
(一) 2億573万3千円

生活保護費

4億42万8千円
(前年度：3億9,693万2千円)

財源内訳：

(国) 2億9,732万円
(県) 97万5千円
(一) 1億213万3千円

○継続【重点事業】(仮称)野洲市立病院整備基本計画策定： 2,098万円

(前年度： 16万7千円)

本市の地域医療サービスの継続に向けた中核的医療拠点として、(仮称)野洲市立病院を整備するための計画を策定します。

財源内訳：

(繰) 150万円
(一) 1,948万円

◎新規 (仮称)健康ウォークやす実践プログラム事業： 20万円

健康・出会い・発見をキーワードに、年齢を問わずだれもが気軽にウォーキングを楽しめるプログラムを設定し、広く市民へ情報提供することにより、日常的な健康づくりの取り組みへとつなげます。

財源内訳：

(一) 20万円

◎新規 重症心身障がい者特別支援事業： 234万4千円

在宅の重症心身障がい者の日中活動の場における適正な支援体制の確保と処遇改善を目的として、生活介護サービスの利用に当たり、事業者に対して加算費を支給します。

- ・重症心身障がい者対応看護師配置加算費：64万7千円
- ・重症心身障がい者対応人員配置加算費：169万7千円

財源内訳：

(一) 234万4千円

◎新規 軽度・中度の障がい児・者の日常生活及び社会生活における コミュニケーション手段等の保障： 15万5千円

重度の障がい者への支援だけではなく軽度・中度の障がい児・者に対しても日常生活及び社会生活等に必要なコミュニケーション手段の保障の観点から必要な装具や用具の購入費用等を助成する仕組みを創設し、社会参加等の促進を図ります。

軽度・中等度難聴児補聴器購入費助成：11万円

身体障害者手帳の対象とならない聴力レベル（補装具の給付対象外）の難聴児の補聴器の購入又は修理費用の一部（3分の2）を助成し、言語の習得と社会性の向上を図ります。

財源内訳：

(県) 5万5千円

(一) 5万5千円

広報等音訳事業のデジタル化に伴う再生機器の購入助成：4万5千円

市音訳広報等のデジタル化を進めるため、中度の視覚障がい者（身体障害者手帳3・4級）の市広報等の情報取得を目的とした再生機器の購入費用の一部を助成し、情報提供を保障します。

財源内訳：

(国) 2万2千円

(県) 1万1千円

(一) 1万2千円

○継続 相談支援の充実

障がい者相談支援に求められる多様性と専門性に対応するため、身体障がい者、知的障がい者及び精神障がい者の相談支援業務を民間事業所に委託し、支援の拡大と機能強化を図ります。

湖南地域（身体障がい者）相談支援事業負担金：180万7千円（前年度：140万8千円）

湖南地域（知的障がい者）相談支援事業負担金：453万円（前年度：474万3千円）

湖南地域（精神障がい者）地域活動支援センターI型事業運営委託料

：1,600万円、うち野洲市負担金額：290万1千円

（前年度1,600万円、うち野洲市負担金額：291万5千円）

財源内訳：

（国）	99万4千円
（県）	49万7千円
（諸）	1,309万9千円
（一）	774万7千円

●拡充 発達支援事業費：116万3千円（前年度：121万2千円）

来所や電話による相談や巡回発達相談事業に加え、保育所等訪問支援事業や、乳幼児期の発達相談の一元化によりその内容を充実し、乳幼児期から成人期までの発達に支援を必要とする人とその家族や支援者に対する相談支援を実施します。

財源内訳：

（国）	6万6千円
（県）	3万3千円
（一）	106万4千円

○継続 保健事業費（各種検診等）：3,109万3千円

（前年度：3,131万9千円）

生涯にわたり健康を維持できるよう健康相談、健康教育、がん検診、訪問指導等を実施します。

なお、乳がん・子宮がん・大腸がん検診に係る無料クーポン券の配布は平成26年度も継続します。

財源内訳：

（国）	291万2千円
（県）	317万1千円
（諸）	466万2千円
（一）	2,034万8千円

◎新規 大人風疹予防接種費助成事業： 35万円

妊婦への風しん感染を防ぐために、風しん抗体価の低い妊娠希望者とそのパートナーに接種費用の7割を助成します。

財源内訳：

(一) 35万円

○継続 地域医療体制整備補助事業： 1億1,527万1千円

(前年度:1億2,163万6千円)

地域医療の中核病院として、地域の医療の充実、医療提供体制の整備を促進し、市民の健康保持を図るため、特定医療法人御上会（野洲病院）に対して補助を行います。

財源内訳：

(一) 1億1,527万1千円

◎新規 在宅医療推進地域モデル事業： 300万円

医療、介護、福祉の多職種が協働して行うチーム医療実践のモデル事業として、地域医療あり方検討会の「在宅ケア部会」の活動支援や「在宅療養手帳検証会」「24時間訪問看護・介護検討会」の開催、在宅医療・看取りの普及啓発等に取り組みます。

財源内訳：

(県) 300万円

◎新規 第6期高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定業務

＜介護保険特別会計＞： 296万円

第6期(27年度～29年度)高齢者福祉計画・介護保険事業計画について、向こう3カ年の高齢者福祉施策及び介護保険事業施策を推進・運営するために策定し、その中で、今後の地域包括支援センターのあり方を検討します。

財源内訳：

(一) 296万円

◎新規 臨時福祉給付金・子育て世帯臨時特例給付金： 2億1,332万2千円

消費税率の引上げに際し、低所得者に与える負担の影響に鑑み、一体改革の枠組みの中で講じる社会保障の充実のための措置と併せ、低所得者に対する適切な配慮を行うこと、また、子育て世帯への影響を緩和するとともに、子育て世帯の消費の下支えを図る観点から暫定的・臨時的な措置として給付金を支給します。

臨時福祉給付金	1億5,300万円
子育て世帯臨時特例給付金	6,032万2千円

財源内訳：
(国) 2億1,332万2千円

◎継続 市営住宅改修事業： 4,576万円（前年度：381万7千円）

老朽化した市営住宅永原第2団地3号棟の内外装の改修を行い、居住空間の安全性を確保します。

施工監理委託料	184万7千円
改修工事費	4,241万3千円
移転補償金	150万円

財源内訳：
(使) 76万円
(繰) 4,500万円

◎新規【重点事業】 野洲市消防団(北野分団)整備事業： 2,923万1千円

平成27年4月の野洲市消防団(北野分団)の発足に向け、旧防災センターを活用した分団詰所の整備及び消防団ポンプ車両の配備し、地域の消防・防災活動の核となる消防団を充実・強化し、市民の安心・安全なまちづくりを推進します。

車両購入費等	1,736万4千円
詰所改修実施設計	196万8千円
詰所改修工事費	989万9千円

財源内訳：
(債) 2,900万円
(一) 23万1千円

◎新規 野洲市消防団(篠原分団)詰所移転事業： 2,287万1千円

野洲市消防団(篠原分団)詰所の移転に向け、用地取得・詰所の設計等に取り組むことにより、消防団を中核とした地域の防災力及び機動力の向上を推進します。

実施設計	485万2千円
土地購入費	1,801万9千円

財源内訳：

(債)	2,280万円
(一)	7万1千円

◎新規 野洲市消防団消防車両デジタル無線受令機設置工事： 439万2千円

平成28年4月の湖南広域消防車両のデジタル無線化に向け、消防車両の車載受令機の更新を行います。

財源内訳：

(一)	439万2千円
-----	---------

◎新規 防災・浸水（内水）ハザードマップ作成事業： 284万2千円

災害発生時の被害を最小限にとどめるため、市内河川を対象とした洪水ハザードマップ及び地震防災マップの再検討を行う、防災・浸水ハザードマップ作成業務に着手します。

財源内訳：

(国)	53万2千円
(県)	17万8千円
(一)	213万2千円

○継続【重点事業】 生活困窮者支援事業： 1,766万7千円

(前年度：1,743万2千円)

経済的困窮もしくは社会的孤立により、生活困窮状態に陥っている人を対象にパーソナル・サポートサービス事業の取組を基本とし、就労支援や家計相談支援を行うなど、市役所の総合力で相談者の発見、生活再建支援を実施します。

特に就労支援では、市役所内に設置したハローワークのサービスと生活再建にかかる市役所のサービスを一体的（ワンストップ）に提供します。

財源内訳：

(県)	1,766万7千円
-----	-----------

『地域を支える活力を生むまち』

○継続【重点事業】 野洲・ものづくりインストラクター養成スクール：

283万8千円（前年度：700万円）

東京大学ものづくり経営研究センター(MMRC)の支援のもと、ものづくりにおける高度な知識、技能を持つベテランの人材を経営改善のインストラクターとして育成するためのスクールを引き続き開校します。

財源内訳：

(国)	82万5千円
(諸)	160万円
(一)	41万3千円

○継続 人・農地プラン推進事業： 338万円（前年度：335万6千円）

地域で集落の農業の将来について協議を行い、今後の方向性を定めます。

また、すでに設立されている集落営農組織について、経営安定化を支援します。

財源内訳：

(県)	338万円
-----	-------

○継続 青年就農給付金： 1,500万円（前年度：2,700万円）

将来の地域農業を支える担い手育成の一環として、就農意欲のある青年層を対象に市内での新規就農を支援します。

《対象者》

45歳未満の新規就農者

《助成額》

年間150万円（所得制限あり）

財源内訳：

(県)	1,500万円
-----	---------

○継続 機構（農地）集積協力金： 2,130万円（前年度：4,980万円）

県農地中間管理機構に農地集積することで「機構集積協力金」を交付します。

財源内訳：

(県)	2,130万円
-----	---------

○継続 経営体育成支援事業補助金： 2,127万5千円（前年度：3,507万円）

担い手育成を図るため、農業用機械導入や施設設置にあたり、事業費の一部を補助します。

財源内訳：
（県） 2,127万5千円

○継続 工業振興助成金： 5,000万円（前年度：5,000万円）

工業振興条例に基づき、申請のあった15企業に助成金を交付します。

交付総額	15億2,834万円
平成25年度末の交付済額	10億9,761万円
平成25年度末の未交付額	4億3,073万円

財源内訳：
（一） 5,000万円

○継続 中小企業利子補給金： 600万7千円（前年度：614万4千円）

市内で営業する中小企業者が市の定める融資制度を利用した場合、その支払利息の一部を補給します。

- 《 対象者 》 野洲市内で事業を営む個人
野洲市に住所を有し事業を営む法人
- 《 利子補給率 》 利子補給率：0.4%

財源内訳：
（一） 600万7千円

○継続 野洲川大花火大会： 200万円（前年度：200万円）

野洲川大花火大会を開催します。なお、昨年に引き続き当日は、昼間にもイベントの開催を計画しています。

財源内訳：
（一） 200万円

『美しい風土を守り育てるまち』

○継続【重点事業】 新クリーンセンター施設整備： 9億4,926万1千円 (前年度：2億588万9千円)

新クリーンセンターの平成28年度操業開始に向けて、昨年度に引き続き用地造成工事を実施するとともに、施設本体建設工事を進めます。

造成工事関連 4億1,095万7千円

建設工事関連 5億3,830万4千円

財源内訳：

(国) 1億4,189万9千円

(債) 6億4,240万円

(一) 1億6,496万2千円

○継続 環境基本計画推進事業： 171万1千円 (前年度171万1千円)

環境基本計画に定める、市民・事業者との協働推進プロジェクトに対する支援を行います。

財源内訳：

(諸) 171万1千円

◎新規 屋外広告物条例ガイドライン作成事業： 25万円

野洲市景観形成方針を踏まえた、市独自のまちなみを創出し魅力ある良好な景観の誘導を図るため、屋外広告物条例施行に際しガイドラインを作成します。

財源内訳：

(一) 25万円

『うるおいとにぎわいのある快適なまち』

○継続【重点事業】 篠原駅周辺都市基盤整備： 1億1,356万2千円 (前年度：6,295万2千円)

本市と近江八幡市、竜王町との2市1町で取り組んでいるJR篠原駅周辺整備事業に係る負担金を計上しています。

平成26年度は自由通路や駅前広場等の整備工事を推進します。

財源内訳：

(債)	1億80万円
(一)	1,276万2千円

○継続 コミュニティバス運行費： 3,652万8千円 (前年度：3,525万2千円)

公共交通機関の一つであるコミュニティバスをきめ細かく運行することにより、地域住民の移動手段の確保及び便宜の向上を図ります。

《運行コース》

あやめコース
祇王・中里コース
篠原コース
三上コース
中央循環コース

財源内訳：

(使)	603万1千円
(県)	208万1千円
(一)	2,841万6千円

○継続 道路維持工事： 3,583万円 (前年度：2,183万円)

危険度の高い箇所の修繕や整備優先度の高い箇所の整備を行うことで、健全な道路環境を維持します。

市道1号線舗装修繕工事 他1路線

財源内訳：

(国)	880万円
(一)	2,703万円

<平成25年度2月補正案(緊急経済対策) 2,170万円>

・南桜永原2号橋(市道小篠原上屋線) 橋梁修繕工事 他2橋

**○継続【重点事業】 交通安全施設整備事業： 1億1,151万8千円
(前年度：2,252万1千円)**

通学児童をはじめとする歩行者等の安全確保を図り、道路安全施設等の適正な維持管理及び整備することにより、交通事故の減少、注意喚起を図ります。

柿ノ木原踏切道拡幅工事 他5箇所

財源内訳：

(国)	5,500万円
(債)	4,050万円
(一)	1,601万8千円

**○継続【重点事業】 雨水対策事業： 1億2,509万円
(前年度：1億1,836万8千円)**

祇王井川第2排水区域に係る常襲的な浸水被害を解消するための雨水幹線の整備を行い、引き続き浸水被害の軽減を図ります。

《事業実施期間》

平成24～27年度 全長1,300m

平成26年度 延長200m 幅4.5m

財源内訳：

(国)	6,000万円
(債)	5,400万円
(一)	1,109万円

**○継続【重点事業】 野洲駅周辺都市基盤整備： 1,058万3千円
(前年度：5億108万2千円)**

JR野洲駅周辺の賑わいの創出と安心・安全のため野洲駅北口広場の整備を行います。

《事業実施予定》

野洲駅北口広場線

財源内訳：

(国)	567万8千円
(債)	240万円
(一)	250万5千円

◎新規 下水道事業の地方公営企業法適化<下水道事業特別会計>

: 1,773万4千円

下水道事業の経営基盤を強化し、長期的に安定した経営を持続していくため、企業会計を導入（地方公営企業法適用）します。

平成26年度～平成27年度	固定資産評価・調査
平成27年度～平成28年度	移行手続き（予算編成・例規等）
平成28年度	企業会計システムの構築
平成29年4月1日	完全移行

財源内訳：

（使） 1,773万4千円

○継続 配水給水事業<水道事業会計>

: 4,151万円（前年度：2億8,817万円）

管路の漏水調査による有収率の向上等、給配水管の適正な維持管理を行います。また、自己水の確保に努め、清浄にして低廉な水の安全・安定供給を図るため、経年配水管の布設替事業を行います。

財源内訳：

（一） 4,151万円

『市民と行政がともにつくるまち』

◎新規 市制施行 10 周年記念事業： 78 万 3 千円

本年 10 月に市制施行 10 周年を迎えるにあたり、市民、団体等とともに、これまでの市のあゆみを振り返ることにより、これからのまちづくりへの更なる市民参加につなげることを目的として記念事業を実施します。

財源内訳：

(繰)	50 万円
(一)	28 万 3 千円

○継続【重点事業】 野洲市総合行政システム再構築事業：

1 億 3,235 万 2 千円（前年度：1,134 万 1 千円）

野洲市総合行政システムの更新を平成 24 年度から 26 年度を第 1 期、平成 27 年度から 29 年度を第 2 期として実施します。

第 1 期において新基幹系システムの稼働と新財務会計の本稼働を計画しています。また、第 2 期情報系の基盤整備として、野洲市総合行政システムのネットワークの見直しに着手します。

財源内訳：

(一)	1 億 3,235 万 2 千円
-----	------------------

○継続 コミュニティ活動推進事業： 6,477 万 6 千円

（前年度：5,490 万 9 千円）

住民と行政の協働によるまちづくりの推進のため、自治会等が取り組む活動に対して補助金を交付します。

・自治会活動活性化補助金	1,613 万 7 千円
・コミュニティ助成	2,970 万円
・自治会館等建設事業補助金	1,870 万 2 千円
・景観形成事業費補助金	14 万 4 千円
・自治連合会補助金	9 万 3 千円

財源内訳：

(県)	415 万 2 千円
(諸)	2,970 万円
(一)	3,092 万 4 千円

○継続 コミュニティセンター運営費： 6,314 万円

(前年度：6,128 万 3 千円)

地域コミュニティの拠点として大きな役割を担っているコミュニティセンターの管理運営について、各学区自治連合会等との協定に基づいた指定管理者制度により、より身近で親しみのある施設として市民の利用に供します。

財源内訳：

(使)	700 万円
(繰)	5,000 万円
(一)	614 万円

○継続 不用資産の処分（売払い）：【歳入】 2 億 672 万 5 千円

(前年度：4 億 586 万 1 千円)

遊休資産等の処分・活用の検証を経て、有効活用が見通しが低いと考えられる土地等の売却を進めます。